



みんなで
地域のことを
もっと語ろう!

健康福祉センターで
行われた会には市内
から約 60 名が参加

旧3町から各地区が発表



発表地区はコチラ↑



2月27日、浅口市コミュニティ推進協議会主催の、
『あさくち地域チャレンジトーク』
が、市健康福祉センター（鴨方町鴨方）で開催されました。
した。今回は、初めての開催ということで、金光町須恵地区から地域活動について発表していただき、みんなで課題解

決のために話し合いを行いました。私は協力隊として、各組織の運営についてたくさん勉強させていただきました。今日は、私の目線で捉えた各地区の課題や取組みについてこの場をもって、ご紹介させていただきます。

『共助』による『安心』『快適』な地区を目指して

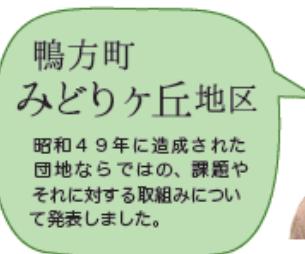
金光町須恵地区では、「共助」『安心』『快適』をスローガンに区長を筆頭として様々な組織のリーダーが積極的に地域活動に取り組んでいます。地域での助け合いの基となる『絆』や「おしゃべり喫茶」、ども会の「もち米プロジェクト」などがあります。また、自主防災組織では、自治会非加入者も交えた「防災訓練」などの取組みを行っています。「チャレンジトーク」の参加者からは、組織の連携の仕方や運営をどのように行っているのか?世代を超えた交流や集まる場づくりの仕掛けはどうなっているの?などの多くの質問が寄せられました。各組織が連携し、多世代と一緒に地域活動に参加するスタイルは、今後の自治組織運営のモデルケースとなっていくのではないかと感じました。

○須恵地区○
人口: 約 640 人
高齢化率: 40.3%

○須恵地区における自治活動の様子
（区民センター、「高齢者」「地域」）

浅口市コミュニティ推進協議会
主催 合同研修会

地域チャレンジトーク開催



鴨方町 みどりヶ丘地区

昭和49年に造成された団地ならではの、課題やそれに対する取組みについて発表しました。

町内会長 宮本紀子さん

○みどりヶ丘地区○
人口: 約 1400 人
高齢化率: 44.5%



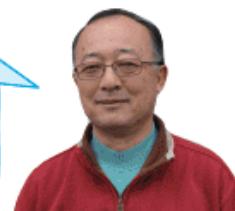
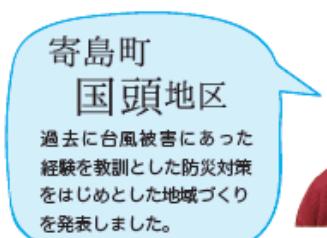
イキイキとした暮らしを今後も続けていくために

鴨方町みどりヶ丘地区では、団地造成後、様々な地域から移り住んできられた方たちで、町内のルールづくりを行い、駐車場や子育て環境の整備など、町内会を中心として活動に取り組んでこられました。現在は、地区協力を中心にサロン運営が活発で「健康体操」や「お月見会」などの開催や月に1回「福祉の日」として専門家をお呼びして話を聞く会を行い、高齢者の方がイキイキとした健康的な暮らしができるよう活動しています。しかし、他の地区と比べて、

鴨方町みどりヶ丘地区では、団地造成後、様々な地域から移り住んできられた方たちで、町内のルールづくりを行い、駐車場や子育て環境の整備など、町内会を中心として活動に取り組んでこられました。現在は、地区協力を中心にサロン運営が活発で「健康体操」や「お月見会」などの開催や月に1回「福祉の日」として専門家をお呼びして話を聞く会を行い、高齢者の方がイキイキとした健康的な暮らしができるよう活動しています。しかし、他の地区と比べて、

イキイキとした暮らしを今後も続けていくために

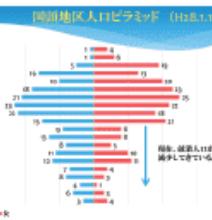
町内会の歴史が浅い分、よりスピーディーに地域の課題を解決していくかなければならないのですが、一方で、今までの現状もあります。今後は、地域の課題をみんなが自分ごととして捉える事ができるよう無理のないコミュニティ運営を行っていくことで、若い世代との交流の場を増やし、地区内の賑わいを取り戻すことがより重要な要素となります。だと思います。



寄島町 国頭地区

過去に台風被害にあった経験を教訓とした防災対策をはじめとした地域づくりを発表しました。

○国頭地区○
人口: 約 440 人
高齢化率: 41.3%



※記載の高齢化率は65歳以上の高齢者人口が総人口に占める割合で、2015年の日本全体の高齢化率は26.8%です。